

(株)苫東 第27回経営諮問委員会議事録

- 1 日時 令和6年5月20日(月)13時00分~14時15分
- 2 場所 ホテルポールスター札幌 4階「ラベンダー」
- 3 出席 9名
- 4 議題
 - (1) 委員長代理の選出
 - (2) 最近の主な動き
 - (3) 令和5年度経営概況について
 - (4) 令和6年度事業計画等について
 - (5) 苫東地域のデジタル・GXプロジェクトについて

5 委員からの主な意見

- 今後の産業創生においてはレジリエンスがキーワードとなる。DX等のイノベーションに惹かれるが、実はこれから日本が向き合わなければならないのはレジリエンスであり、豊かさのための産業構造づくりから国民の安全安定を図るための産業構造を意識せざるを得なくなる。例えば医療防災産業等、産業基盤の耐久力をどう付けていくのかという問題意識が重要である。
- 北海道の一番の課題は人口減少であり、人手不足の状況下でもインフラ整備は大事だが、一方で、産業が集積してまちづくりが行われるという環境を関係各所で連携して、北海道全域で考えていく必要がある。道央圏の経済活性化を北海道全域に広げることが必要である。
- 建設業は人手不足であり、工事に影響が出ている。苫東で工事を始めるにしても、手配が大変だと思うので、企業進出後の工事は計画的に行って頂きたいと感じている。
- 苫東GXHUB構想等のお話を聞き、将来のビジョンに向け、着実に歩み出したと思う。連携して脱炭素の取り組みを行い、地域経済の発展に貢献したい。
- 企業集積が進む中で、インダストリアルエリアからインダストリアルタウン、シティとして豊かで安全な生活ができる環境を北海道、苫小牧市の協力を得ながら創っていく必要がある。日本が掲げた地方創生というテーマに合致するような苫東を目指して行ってほしいと思う。
- 今年の3月に第9期北海道総合開発計画が閣議決定されたが、北海道が持つ資源、ポテンシャルなくして解決できないだろうということを念頭に策定した。北海道の将来像を多くの方と共通認識持ちながら、計画を推進していきたいので協力をお願いしたい。
- 道としては、3月に半導体デジタル関連産業振興ビジョンを策定し、北海道全体に広げようと考えている。苫東地域においても今後の動向に注目しているので、連携して北海道の成長に繋げていきたい。
- 時代が苫東に近づいてきたなと感じている。データセンターの立地や水素・アンモニアサプライチェーンの構築検討等が進められており、地域経済の活性化を期待している。波及効果を全道に広げていくためにも苫東の役割は重要であると認識している。
- 分譲の進捗に伴い、将来の需要を見通した中長期の事業計画及びインフラ整備の検討をお願いしたい。GX等のエネルギー、半導体、食をこれから重要視していくべきではないか。DBJは省庁との連携やプロジェクトを含めた繋がりがあるので、これまで以上に連携して情報共有の上、今後の発展に繋げていきたい。

以上